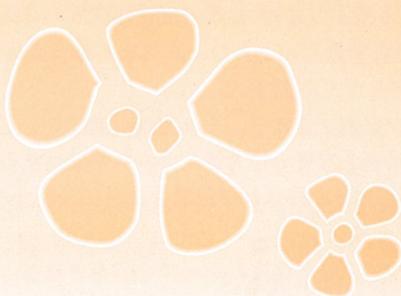


生活中心教育研究

第5号

2005年3月



特集：総合的な学習の時間—子ども主体、生活中心に—

【論説】

綿城 満隆：総合的な学習の時間を活用し豊かな学校生活を実現する 1

【実践研究】

<総合的な学習の時間のある生活づくり>

中尾 和子：養護学校での生活づくり—「総合的な学習の時間」もうまく利用して 7

中田 邦明：総合的な学習の時間のある生活づくり 16
～特殊学級で「総合的な学習の時間」をどう扱うか～

<展開の実際>

千葉 雅弘・東 浩彦：地域を活かし、生徒の主体性が発揮できる活動をめざして 22
—単元「ふれあい・感動体感！国体・全国障害者スポーツ大会
～大きな歓迎壁画を作ろう～」の取り組みを通して—

鬼塚 行彦：「自分から、自分で、自分らしく」……わくわくドキドキ!! 30

山崎 麻子：全校の友だちとワイワイ、単元「若竹祭り」 35

東本 昇：生きる力を育てるために 42

実践報告

高田 葉子：重複学級と普通学級が一緒に遊ぶ「アンパンマンすべり台」 47
—重複学級の立場から—

論文

石井 貴也：「領域・教科を合わせた指導」及び「合科的・関連的な指導」における
「合わせる」概念の比較検討 53

着眼大局

黒澤 一幸：いま、生きて働く力をはぐくむ 62

事務局通信

生活中心教育研究会